

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和元年度事業)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考		
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値	
I	収蔵資料の整理・保存有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	令和元年度実績		/	A	収蔵施設の問題等で、現在受入は行っていない。	
					館設定令和元年度の目標					
			2	資料の情報化・公開実績	令和元年度実績		/			現状の職員数では手が回らず、実施できず。
		館設定令和元年度の目標								
		3	収蔵庫内の整備(県指定物件の配置換え)	令和元年度実績	県指定全件	4	収蔵庫内で県指定有形民俗文化財と指定外の資料の棚を分けて、整備した。			
				館設定令和元年度の目標	県指定全件					
		収蔵資料の有効活用	4	館外貸出(外部機関等展示等)	令和元年度実績	1件			2	B
					前年度実績	2件				
			5	館内利用(学術調査等)	令和元年度実績	3件	4			
前年度実績	1件									
6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	令和元年度実績	8件	2	出版物や展示などへの掲載要望と実績件数。					
		前年度実績	13件							
調査研究	7	調査事案件数	件数	令和元年度実績	3件	4	A	現状の職員数では手が回らない。		
				前年度実績	3件					
	8	共同調査事案件数	件数	令和元年度実績		/				
館設定令和元年度の目標										
9	研究成果の公開状況	論文研究報告	令和元年度実績	4件	4	『たかぼ通信』への寄稿・外部講師の実績件数。				
			前年度実績	4件						
大項目 I の総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	昔の道具の小学校側の利用希望はあるが、遠距離の学校への出前は資料貸出のみとして授業は行わない形式に変更したため、貸出件数は多くなかった。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	令和元年度実績	11,295人	3	B	当館では企画展は年1回であるため、常設展やトピックス展等来館する展示を集計した。
						前年度実績	12,320人			
			2	企画展(事業名) 身近な道具のものがたり-明治から平成-	入館者数	令和元年度実績	3,419人	3		
						前年度実績	3,808人			
			3	企画展(事業名)	入館者数	令和元年度実績	13,665人	4		
						前年度実績	11,824人			
		展示の充実	4	常設展示	更新回数	令和元年度実績	1回	4		
						前年度実績	1回			
						5	企画展(事業名) 身近な道具のものがたり-明治から平成-			
6	トピックス展等	実施回数	令和元年度実績 7回	前年度実績 10回	2					
総合的な満足度	7	博物館	アンケート満足度 「とても良かった」 +「良かった」の割合	令和元年度実績	/	4	A	館へのアンケートは実施していない。		
				8	企画展(事業名) 身近な道具のものがたり-明治から平成-				令和元年度実績	95%
				9	トピックス展等				令和元年度実績	/
大項目IIの総合評価(A~D)							B			
博物館コメント	展示への来館者の満足度は高かった。特に企画展「身近な道具のものがたり-明治から平成-」は、大利根分館の収蔵品を中心とした展示で、高齢者には懐かしさを感じさせ、若い人には新たな発見につながり、好評であった。夏休み展示「あなたの街と自然災害」では、中央博物館本館で昨年度行った展示の香取海匠地区のダイジェスト版展示を行った。									
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	令和元年度実績	48%	1	D	来館者の高齢化が進み、入場料は減少傾向にある。
						前年度実績	47%			
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	令和元年度実績	/	/		
						前年度実績	/			
大項目IIIの総合評価(A~D)							D			
博物館コメント	入場料収入の目標は、過去に最も収入の多かった額(平成23年度実績額)を100%として計算している。企画展は、当館で人気の収蔵品である道具関係の展示を行い、なつかしい道具は高齢者を中心に評判がよかった。そのため、来館者の評価は高いが入場料の増加に結びつかず、財源の確保が課題である状況が続いている。									
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	令和元年度実績	28回	3	B	
						前年度実績	30回			
			2	HPでの利用状況	アクセス数	令和元年度実績	11,799件	3		
						前年度実績	12,806件			
			3	報道機関への情報発信	取材件数	令和元年度実績	3件	2		
						前年度実績	6件			
大項目IVの総合評価(A~D)							B			
博物館コメント	大利根分館は職員数が少ないため、これ以上のHP等を用いた情報発信はむずかしい。そのため、広報活動の手段としてチラシの道の駅への配布などを行ったが、アクセス数に結びつけることができなかった。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値				
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校利用受入	学校数	令和元年度実績	26校	4	A	当館に来館して学校解説した学校数
					館設定令和元年度の目標	25校				
			2	入館者数	令和元年度実績	1007人	4	当館に来館して学校解説した学校の入館者数		
					館設定令和元年度の目標	1000人				
			3	生徒・児童	入館者数	令和元年度実績	1007人	4		当館に来館して学校解説した学校の入館者数
		館設定令和元年度の目標				1000人				
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	令和元年度実績	28校	4	学校出前授業での展示校数		
					館設定令和元年度の目標	25校				
		5	利用者数	令和元年度実績	13102人	4	学校出前授業の展示での利用者数			
				館設定令和元年度の目標	13,000人					
地域関係団体との連携	6	団体数	令和元年度実績	2団体	4	A	体験講座での連携事業			
			館設定令和元年度の目標	2団体						
	7	連携・共催(大学、NPO等)	利用回数	令和元年度実績	3回		4			
				館設定令和元年度の目標	3回					
	8	利用者数	令和元年度実績	40人	4					
館設定令和元年度の目標			30人							
9	友の会活動	利用人数	令和元年度実績							
10	ボランティア活動	活動延人数	令和元年度実績	1人	4	今年度から、銚子市での昔の道具出張展示でボランティアが解説を行った。				
			館設定令和元年度の目標	1人						
大項目Vの総合評価(A~D)							A			
博物館コメント	昔の道具の小学校側の利用希望は安定的にあるが、香取海匠地域で小学校の統廃合が進んでおり、学校数や利用者数を伸ばすことは難しい。また、働き方改革により、遠方への出前授業ができなくなったことから、出前講座数も減少の傾向である。今後は、地元での学校利用の推進に力を入れる方向としたい。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考				
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値							
VI	教育・普及活動	来館状況	1	水郷の自然と歴史	参加者数	令和元年度実績	97人	2	B				
						館設定令和元年度の目標	130人						
			2	講座	展示関連講座等	参加者数	令和元年度実績	97人			3		
							館設定令和元年度の目標	100人					
			3	〇〇〇〇	参加者数	令和元年度実績	/	/					
						募集員数	/						
			4	体験教室	かわいいカモをつくろう他体験教室	参加者数	令和元年度実績	245人			3	B	体験事業では、募集を適正な数値に減らしたため、参加者数が減少した。
							館設定令和元年度の目標	250人					
		5	〇〇〇〇	参加者数	令和元年度実績	/	/						
					前年度実績	/							
		6	〇〇〇〇	参加者数	令和元年度実績	/	/						
					募集員数	/							
		7	昭和の名車大集合関連	参加者数	令和元年度実績	3572人	3	A					
					館設定令和元年度の目標	3600人							
		8	出張写真展	参加者数	令和元年度実績	35118人	4						
					館設定令和元年度の目標	35000人							
		総合的な満足度	9	講座	〇〇〇〇	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	令和元年度実績	/	/				
令和元年度実績	/												
令和元年度実績	/												
12	体験教室		〇〇〇〇	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	令和元年度実績	/							
				令和元年度実績	/								
				令和元年度実績	/								
13	〇〇〇〇		参加者数	令和元年度実績	/	/							
				令和元年度実績	/								
15	〇〇〇〇	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	令和元年度実績	/	/								
			令和元年度実績	/									
16	〇〇〇〇	満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	令和元年度実績	/	/								
			令和元年度実績	/									
17	相談件数(来館、メール、電話等)	利用件数	令和元年度実績	76件	3	B							
			館令和元年度の目標	80件									
大項目VIの総合評価(A~D)								B					
博物館コメント	講座や体験教室の受講者数はほぼ安定している。内容が小さい子供達でも簡単にできるようなものが多いことから、特にアンケートは行っていないが、「有意義だった」「楽しかった」との声が多かった。「昭和の名車大集合」は8回目となり、定期的なイベントとして定着している。今年は出品者の協力により、これまで最大の120台が参加したが、天気が不安定であったため、昼頃から参加者が減少した。												

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明				数値
Ⅶ	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	令和元年度実績	/	/	A	
					館設定令和元年度の目標				/
			2	教員等の研修	令和元年度実績	/	/		
					館設定令和元年度の目標				/
		3	職場体験	令和元年度実績	/	/			
				館設定令和元年度の目標			/		
		4	インターンシップ	令和元年度実績	/	/			
				館設定令和元年度の目標			/		
		5	研修会の開催	実施回数	令和元年度実績	1回			4
				館の計画	1回				
6	防災訓練実施等	実施回数	令和元年度実績	1回	4	A			
		館の計画	1回						
大項目Ⅶの総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	実習・研修については配置職員の数では対応ができないため、受け入れを行っていない。安全管理の研修などは行っている。								
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	令和元年度実績	8団体	4	B	
					前年度実績	2団体			
			2		令和元年度実績	/	/		
					館設定令和元年度の目標	/			
		3	外国人来館入込	令和元年度実績	0団体	1			
				館設定令和元年度の目標	0団体				
		4		令和元年度実績	23人	4			
				前年度実績	8人				
大項目Ⅷの総合評価(A~D)							B		
博物館コメント	養護施設など多種類の団体からの見学希望があり、数は少ないが、事前下見からかなり内容を打合せする案件が多かった。外国人団体や入館者については、佐原の町並みには外国人の来訪が増加しているため、そこからの交通手段を誘致すれば、増加に繋がる可能性はあるが、実情は難しい。								
総合評価(A~D) 【各達成度の平均】							B		
総合評価と次年度への対策	大利根分館は、開館40年となる。施設の老朽化はいなめないが、企画展期間中のアンケートではおおむね好評を得ている。当館の来館者の多くは、隣接する水郷佐原あやめパーク(元水生植物園)のあやめ祭りの時期に集中しており、両施設を併せて見学される方が多い。あやめ祭り以外の期間は、定期運行バスはなく、平日のコミュニティバスのみであり、交通の便はいいとはいえない。そうした中で来館者を増加させることの難しさを痛感している。地域連携としては、あやめパークと連携した体験事業や道の駅・川の駅 水の郷さわらにおける出張写真展を行っている。このような連携事業を行うことで、入館者数増加につなげていきたい。また、次年度に向けて、収蔵資料の整備を行っていく予定である。								